

スキースタッフマニュアル



スタッフ配置

- ・ 全体管理（のずーピー）…全班をまわって進捗状況管理や写真撮影
- ・ 本部（やなぴー）…全体への指示・備品管理・体調不良者の対応・弁当の調達
- ・ 保健係…体調不良者の対応・傷病記録、朝の体温測定
- ・ インストラクター（イントラ）…スキー場にて5~6人用意してもらい、こどもへの指導を行う
- ・ 班リーダー…こどもの引率、達成目標に到達できるようにレッスンの進捗管理・イントラとの調整、班編成（スタッフやこどもの適正配置）
- ・ 自由班…既に転ばずに滑れる子のみで構成する、イントラ無しでスタッフとひたすら自由に滑る班
まともにスキーが滑れるのはこの班だけなので、スキーができるスタッフ（自分も滑りたい人）は交代でこの班を担当しますが、必ずしも自由班担当になれるとは限りません
- ・ 雪遊び係…ソリや雪遊びはもちろん、みんなでゲームをしたり、イエティでは焼きマッシュマロもしたり…
雪遊び希望者がいない時はスキー未経験者グループの補助を行う

バス車内で行うこと

- ・ 生活班ごとにまとまって座る（スタッフ・同班の人を覚えたり、弁当やレンタル品を効率的に配布するため）
- ・ 自分の班の子の顔・名前を覚える（レッスン中は顔が見えないため）
- ・ 名札写真撮影&記名テープ（ウェアに貼る）&ゼッケン配布
- ・ こどもへの注意事項を伝え、レッスンの流れを説明

こどもへの注意事項

- ・ 経験者は2日目午前、未経験者は2日目午後までにリフトに乗ることが目標
- ・ 2日目に雪遊びに変更となる人を伝える（1日でリフトには乗れないのでまずは楽しむことを目標）
- ・ 着替えの注意（ズボン・スパッツ等の上からウェアを着る、動くとき暑いのでセーター等は着ない方がいい）
- ・ 名前シールを貼ったウェアを着て、その上からゼッケンを着る
- ・ 移動時は紛失防止のため荷物は手に持たず着用し、不要な時はスタッフに預ける
- ・ 名札（電話番号記載あり）は常に着用し外さない（危ないのでウェア内にしまう）
- ・ レッスン中のトイレは大変なので水分摂取は控えめにする（我慢はしない・トイレ行ける時には必ず行く）
- ・ トイレ・休憩・雪遊びへの移動は必ずスタッフ同伴で行い、こどもだけの行動は絶対しない
- ・ 迷子になった時は集合場所（本部）に行くか、店員に名札を見せて電話（場内アナウンス）してもらう
- ・ 昼食時・1日目終了後に班移動ができるので、レッスンの進みが遅すぎるなど移動希望がある場合はスタッフへ相談する（スタッフは班のこどもの様子・レベル・班移動の希望などを確認しておく）
- ・ 怪我・体調不良、疲れた時など何かあったらすぐスタッフに相談する
- ・ 雪はキレイに見えても実際は汚く、お腹も冷えるので食べない

活動時の注意

- ・連絡はすべてLINEにて行うため、レッスン中でも携帯を頻繁に確認し、重要事項は同班のスタッフが把握しているか確認したり、LINEで呼ばれているスタッフを見かけたら声をかけたりとお互いにフォローする
- ・スタッフの班移動等を行う時、体調不良等のトラブル発生時にはLINEグループで共有する
- ・レッスン中にスタッフが自由班へ移動する場合などは各班で話し合って判断する（各班の状況はその班にしか分からないため全体で指示はしません。1日目の基礎（靴の履き方・歩き方等）をやっている時間などスタッフがあまり必要ない時にできるだけ自由班で滑りましょう）
- ・移動時は帽子・手袋・ゴーグルを手に持つと落とすため、必ず身に付けさせ、必ず先頭と最後尾にスタッフがついて、迷子や落とし物に注意する
- ・休憩時や1日目のレッスン終了後は班で小物（手袋・ゴーグル・帽子）を回収し、まとめて暖房で乾燥させる（班ごとに預かる人を決めておき確実に回収し、返却忘れに注意する（過去に回収後の紛失あり））
- ・移動や身支度など時間がかかることが多く、スケジュールに遅延が出やすいので、先の予定を考えて行動し、子どもへの指示・催促等を行う（特に低学年・女の子の着替え等）
- ・ケガ・病気・トラブル発生時はLINEにて共有し、本部の指示を仰ぐ。病人対応は本部で対応できる場合は本部で行い、人数が多い時や不在の場合は保健係が班を離れて対応する
- ・イエティの途中入退場は出入口にて腕章など団体名が分かるものを提示して出入り可能
- ・レンタル品は本人が使わないと言っても必ず貸与する（代金を貰っているので渡さないと問題になるため）
- ・疲れた時、スキーが嫌になった時には雪遊びへ変更できるが、安易にそちらへ逃げないように、基本的には雪遊びへの変更は選択肢として提示せず最終手段とする（強く希望する場合はコアスタッフへ相談）

当日の流れ

- ①バス到着後、車内でウェアに着替える
※まずはこどもの着替え補助を優先し、その後に自分も着替える（もしくは事前に済ませておく）
- ②ウェアを着たら忘れ物がないか確認して、班ごとにブーツ置き場へ移動し、自分のブーツを探して履く
※持ち物はスキーに使う物（着替えや水筒は不要）だけにして、手に持たず着用して移動
- ③ブーツを履いたら、脱いだ靴はブーツ置き場に置いておき、自分のスキー板・ストックを探す
- ④準備ができたら班ごとに並んで、全体でイントラに挨拶してレッスン開始
- ⑤スタッフ紹介（忘れがちなので注意）
- ⑥昼休憩時のスキー板の置き場や休憩後の集合場所はイントラと相談して決める
～レッスン終了後～
- ⑦ブーツ置き場に全員集合。スキー板とブーツを元の場所へ戻して、トイレを済ませてから、班ごとにバスへ戻る（着替えは宿泊施設に戻ってから行う）
※手袋やニット帽などは班ごとにまとめて暖房で乾燥させる！
※スキー板持参の子は盗難防止のためスキー場に置きっぱなしにせずバスへ持ち帰る

～宿泊施設～

- ⑧夜のうちに荷物整理をして、帰りの着替えはバス車内に持込む（トランクに入れると出すのが大変なので注意）
- ⑨翌朝は宿泊施設で着替えを済ませてからバスでスキー場へ移動 ※集合場所別で荷物を載せる

～2日目～

- ⑩レッスンが終わったら、スキー板・ブーツを元の場所に返却し、イントラに挨拶し、イントラと班写真を撮る
- ⑪全体で集合写真を撮ってから、トイレを済ませてバスへ移動し、車内で着替える（希望者は更衣室へ移動して着替える）※移動・着替えに時間がかかるので急ぐ
- ⑫レンタル品は班ごとに貸出した個数を確認して確実に回収する（返却漏れ防止のため）

レッスンの流れ

- ・★印がみんなにやって欲しいサポートです
- ・指導はすべてイントラが行うので、ついていけない子などの補助をお願いします
(特に低学年の子は手取り足取りやってあげないとできない子も多いです)
- ・イントラによって教え方やスタッフへの指示は様々なのでこれをベースとして柔軟に対応する(イントラの進め方が極端に遅い、スタッフに何もさせようとしないなど困った場合は必ずコアスタッフへ相談)

①最初はスキー板の着脱・歩き方などの基本を教える

★着脱補助、写真撮影

※イントラによっては基本に時間をかけすぎる場合があるので、その場合は早く次へ進むように促す
遠慮して言わないと本当に進まない人がいて、最終的にリフトまでたどり着けない場合があります

②緩い坂で滑る・止まる練習を繰り返す

★滑り待ちの子への指示、変な方向へ行った子の回収、転んだ子を起こす、止まれない子の受け止め等

③止まれるようになったらリフトに乗って上から滑る

★リフトが怖い子と一緒に乗る、迷子が出ないように後方から全員いるかを常に監視する

※上達が早くて班のレッスンに退屈してしまう子や、逆についていけず周りに迷惑がかかってしまう子がいる時には、他班と相談して移動するなどして、みんなが適切なレッスンを受けられるようにする

ベルコンでのレッスンは下流にイントラがついて滑り方を教え、スタッフは上流(待ってるこどもへの指示)・下流(イントラを越えていった子の補助)に分かれて対応する

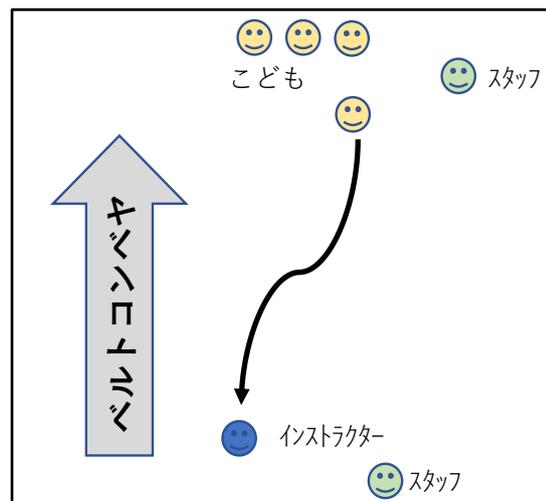
リフトの乗り方

乗り方を間違えると骨折等の可能性があるためこどもに徹底する
乗り方ガイド <https://kurashi-no.jp/I0023826> (QRコード)

昼食休憩

貸切スペースにて班ごとに集まって昼食をとり、以下のことを行う

- ・全員必ずトイレへ行く
- ・体調不良・怪我の確認(何かあれば保健係へ報告)
- ・習熟度の確認、午後にリフトに乗る場合は全員乗れそうか確認
→班内で習得度に大きな差がある場合は班を再編するため、食後のスタッフミーティングまでに把握しておく
- ・スキーを楽しめているか確認(雪遊びに行きたい!とならないようにさりげなく確認)



到達目標 ※個人差やイントラ次第のところも大きいのでおおよその目安

- ・未経験グループ…1日目午後にベルコン、2日目午後にリフトに乗って2~3回滑る
- ・経験者グループ…1日目午前~午後にベルコン、2日目午前にリフトに乗って5回以上滑る
- ・自由班…最初から自由に滑り続ける、行けるようであれば中級者コースにもチャレンジする

宿泊施設で行うこと・注意事項

- ・昼食休憩と同じ内容の確認(体調不良・怪我、習熟度、スキーを楽しめているか)
- ・レッスン進捗・班編成に問題がないか確認
- ・部屋で帽子・手袋・ゴーグル等を乾かす
- ・夜のうちに荷物整理を済ませる(スタッフもしっかりと確認する)
- ・他人の部屋に勝手に入らない(シーツ等をぐちゃぐちゃにされたら嫌なので)



●名簿について

担当スタッフ	生活班	スキー班	宿泊	氏名	ふりがな	学校	性別	学年	友達	住所	集合	アロム	スキー靴	スキーウェア	小物	回数	症状	病気・AR・障がい	自由記入欄		
のずーびー カービィ しゃねるま	A	8班	110	Aくん		静岡 テレビ	男	3年	A▲	静岡市	浜松アリーナ	イントラ無	6~9回	○		16回目					
		Bくん			福田	男	4年	A▲	磐田市	浜松アリーナ	イントラ無	3~5回	○	手袋	6回目			はるき			
		Cくん			豊神寺	男	6年	G◇	浜松市	浜松アリーナ			○	ゴーグル	初			YN(OBT)			
		Dちゃん			静岡大学 附属高校	女	2年	F	浜松市	浜松アリーナ	スキー&雪	1~2回	▲		初			発達障害(そばAR(軽度))			
		Eちゃん			静岡大学 附属高校	女	2年	F	浜松市	浜松アリーナ	スキー&雪			▲	○	小物セット	初		上置性腸外収縮 (車酔い・発汗なし)		
		Fちゃん			豊神寺	女	2年	G◇	浜松市	浜松アリーナ				○	○	小物セット	初				
		Gちゃん			相良	女	3年		数之原市	香玉大診療所	雪			○	○		2回目			のずーびー	
		Hちゃん			相生	女	6年	B★	浜松市	浜松アリーナ				○	○	小物セット	2回目	汗疹		れんちゃん・きらら	
		8人																			

- ・担当スタッフ…リピータースタッフはキャンプネーム、新規スタッフは本名で記載し、各班の一番上が班リーダー
- ・スキー班…スキーレッスンを行う時のグループ分け
- ・生活班…スキー以外の活動（食事やふりかえり等）は生活班で行います
- ・こどもの名前…赤字はリピーター、黄色塗は兄弟参加、太枠は冬キャンプ参加者
- ・友達欄…同じ記号の人は友達または兄弟同士
- ・プログラム…（空欄）はイントラ有り、「イントラ無」はイントラ無しの自由班、
「スキー&雪」は1日目はイントラ有り・2日目は雪遊び、「雪」は2日間とも雪遊び
- ・スキーウェア・小物…レンタルの有無…○は2日間レンタル、▲は1日目のみレンタル、無記入はレンタルなし
小物セットはゴーグルと手袋のセット
- ・「病気・AR・障がい」「自由記入欄」…赤字や塗りつぶしがされているものは特に注意

<名簿取り扱いの注意>

- ・病気等の個人情報があるためこどもに見せない。置きっ放しにせず、常に携帯するかファイリングする
- ・特に紛失すると一般客に見られてしまうため注意する

【イエティ】

本部…休憩室（タウンエリアのレストランの地下1階スペース）

